

Movie Review 7 # JFK

『7 # JFK』(オリバー・ストーン監督:1991年、アカデミー撮影賞、編集賞を受賞)をamazon prime videoで視聴した。マンネリ化した読書の時間を映画鑑賞に振り替えた。オリバー・ストーン(Oliver Stone)は、米国の映画監督、脚本家。ベトナム戦争とそれが人間に与えた影響を描いた『プラトーン』で一躍有名になった。脚本で頭角を現す。作品は『7月4日に生まれて』、『ウォール街』、『天と地』、『ナチュラル・ボーン・キラーズ』『ニクソン』『スノーデン』など。

JFKの暗殺については、『二〇世紀最大の謀略』(落合信彦著)を以前book reviewした。彼は、オズワルド単独犯行説を米国人は現在、誰一人と信じていないと述べている。重要証人16名が相次いで変死している。ダラスでのパレード・ルートが突然変更された不可解さを探る。「大統領を撃ち抜いた弾丸」の軌道が物理現象で説明できない。CIA、FBIにJFKに恨みを持つマフィア・コネクションが絡む。結局、ケネディ兄弟が軍産複合体・マフィアの利益を排除しようとした試みが、彼らの怒りを買った結果であった、と結論付けている。さらにリチャード・ニクソンが絡んでいることを強調している。

では映画『JFK』はどうなっているのだろうか。とにかく長いが、206分をノンストップで観てしまった。JFK暗殺事件の捜査に執念を燃やす地方検事を中心に描いた現代史ミステリーとなっている。JFK暗殺をめぐる唯一の訴訟であるクレイ・ショー裁判にいたる捜査を題材として描いている。原案はジム・ギャリソン(Jim Garrison)の『On the Trail of the Assassins: My Investigation and Prosecution of the Murder of President Kennedy』

アイゼンハワー大統領は1961年の告別演説で、軍産複合体の勢力拡大について警告した。彼の後任のJFKが1963年11月22日にダラスで暗殺されるまでの在任期間には、ピッグズ湾事件とキューバ・ミサイル危機という大きな出来事があった。オズワルドが警察官殺害の容疑で逮捕され、殺人罪で起訴されるが、ナイトクラブのオーナー、ジャック・ルビーによって殺害される。ニューオーリンズ地方検事のジム・ギャリソン(G)は、民間パイロットのフェリーとJFK暗殺との繋がりを調べるが、連邦政府によって公に批判され、捜査を終了させられる。1966年、ウォーレン報告書(政府の公式見解)を読み、不正確な点が幾つかあることから、Gは調査を再開し、フェリーにオズワルドと関係があったことを尋問する。その様な証人の中の1人は、男娼オキーフで、彼はフェリーが「クレ

イ・バートランド」と呼ばれる男とケネディ暗殺について話しているのを目撃し、また、オズワルドと短時間会ったことがあると述べた。Gは、オズワルドがCIAのエージェントであり、暗殺の濡れ衣を着せられたと推論する。

1967年、Gは様々な目撃者の証言はウォーレン委員会によって改竄されたと語る。Gはまた、テキサス教科書会社の倉庫から空のライフルを試射し、オズワルドの射撃の腕では一定の時間内に3発もの発射は出来ず、狙撃者は複数いたと結論づけた。Gは、「バートランド」が本当はニューオーリンズの実業家クレイ・ショーであると信じるようになる。Gはショーから聴取するが、ショーはフェリー、オキーフ、オズワルドの何れにも会ったことは無いと否定する。

重要な証人の中には恐怖を感じて証言を拒否する人もいれば、ルビーやフェリーのようにな審な状況で死亡する者もいた。フェリーは死ぬ前に、JFK殺害の陰謀があったことをGに告げる。GはワシントンD.C.で「X」と名乗る高官と会う。Xは暗殺が政府最高レベルでのクーデターであったことを示唆し、CIA、マフィア、軍産複合体、シークレットサービス、FBI、そして当時の副大統領ジョンソンが共謀者であるかまたは暗殺の真実を隠蔽する動機を持っていたと示唆する。Xは、ケネディが米国をベトナム戦争から撤退させ、CIAを解体したがっているために殺されたのではないかと示唆する。XはGに捜査を続けてショーを起訴するよう勧める。その直後、GはショーをJFK殺害の共謀罪で起訴した。

一方、ギャリソンが裁判にのめり込んだ結果、結婚生活は破綻しかけていた。更に、メディアから調査のために税金を無駄にしているとして批判もされる。そんな中でマーティン・ルーサー・キング・ジュニアの暗殺とロバート・F・ケネディの暗殺が起こる。

ショーの裁判は1969年に行われた。Gは裁判所に対し、「一発の銃弾説」の却下を提案し、ジョンソンを大統領の座に就かせることを目的として、3人の暗殺者が6発の発砲を行い、オズワルドをJFK殺害の罪に陥れたというシナリオを提示した。ジョンソンが大統領になれば、彼はベトナム戦争を激化させ、防衛産業を儲けさせることが出来るからである。しかし、陪審は1時間足らずの審議の後、ショーに無罪判決を下した。この訴追は失敗に終わったが、Gはその決意に満ちたやり方により妻や子供たちの尊敬を勝ち取り、家族との関係を修復する

JFK暗殺の資料は2037年まで封印されている。米国にも良心はある。しかし、米国を支配する上層部の闇は余りにも深い。